



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第148号
令和5年9月20日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

令和5年度 福島県共同募金会 赤い羽根共同募金運動スローガン

優秀賞作品

町中に えがおはばたけ 赤い羽根

いわき市立郷ケ丘小学校 4年 としま のぞみ 豊島 希実 さん



(市内各地での募金活動)

目次

今年も共同募金にご協力をお願いいたします……………	2
役立ちました！共同募金……………	3
報告します 本会の令和4年度事業報告・決算……………	4～5
ボランティア活動センター通信……………	6
社協通信……………	7
地区協議会だより……………	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会

今年も共同募金にご協力をお願いいたします



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会

会長 金成 克哉

毎年、市民の皆さまには、共同募金にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も10月1日から、地域の行政嘱託員、民生委員・児童委員の皆さまをはじめ、多くの団体のご協力をいただき、赤い羽根共同募金運動の募金活動が展開されます。

お寄せいただきました赤い羽根共同募金は、福島県共同募金会の配分委員会の承認を得て、本市の地域福祉を推進する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、障がい者団体、さらには大規模災害時の支援や見舞金として配分されています。

また、歳末たすけあい募金は、歳末時期に支援を必要とする世帯に対し、見舞金や介護用品等を支給するための募金であります。

本市共同募金委員会では、民間の社会福祉事業や地域福祉活動への助成を通し、制度の狭間にある様々な福祉課題の解決に向けて支援するとともに、誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける社会を目指し、関係機関との連携・協働により、福祉のまちづくりに努めて参りますので、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



共同募金(歳末たすけあい募金を含む)は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から翌年3月31日まで全国一斉に行われます。

令和5年度 いわき市の目標額



赤い羽根共同募金 4,680万円
歳末たすけあい募金 2,451万円

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
- 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金は民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行うため、目標額が設定されています。

メッセージ

特定非営利活動法人 ちょぼら ぼおけらハウス

私たちは、障がいがある方の生活援助や自立支援を行う事業所です。

今までは、ご家族に送迎をお願いすることが多くありましたが、送迎用の車両を購入したことにより、ご利用者やご家族の負担を軽減することができ、安心して通い続けられるようになりました。

これからは、送迎に加え、お花見やイチゴ狩りなどのイベントにも積極的に取組んでいきたいと思ひます。

ちょぼら ぼおけらハウス



ゴールデンハープ アルケンII

社会福祉法人 ゴールデンハープ アルケンII

私たちは、支援を必要とする就学児童で、障がいや、発達に特性のあるお子さまが放課後や長期休暇に利用できる放課後等デイサービス事業所です。

共同募金の配分を受け、送迎用の車両購入をさせていただきました。

新しい車両はステップ等の安全装置が充実しているとともに、車椅子の方もそのまま乗車することができるようになりました。大切に使用させていただきます。

役立ちました！共同募金

令和4年度
実績額

赤い羽根共同募金

4,680万642円

歳末たすけあい募金

2,451万897円

お寄せいただいた募金は、福島県共同募金会に集められ、配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みになっています。



© 中央共同募金会

●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額 5,273万5千円が配分されました。

① 安心して利用しやすい福祉施設づくりとして3施設へ746万円が配分されました。

(単位：万円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
社会福祉法人 誠心会 やしおみ荘	300	屋根裏幕版及び 軒裏塗装工事	特定非営利活動法人 ちよぼら ぼおけらハウス	237	送迎用（車椅子仕様車） 整備事業
社会福祉法人 ゴールデンハープ アルケンⅡ	209	送迎用車両整備事業			

② 社会福祉協議会活動を推進するために3,141万円が配分されました。

(単位：万円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市社会福祉協議会	3,141	地域福祉活動・在宅サービス事業など

③ 非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者に3万5千円が贈られました。

(単位：万円)

	配分額	配分金の使途
災害見舞金	3.5	火災による罹災者への見舞金

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額 1,383万円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆さまへ届けられました。(単位：万円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
見舞金	772	生活困窮世帯(478世帯)* 在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	611	防水シート(126世帯)や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布、児童養護施設入所者お年玉支給など

“ありがとう”

社会福祉法人 誠心会 やしおみ荘



私たちは、身体や精神に障害があり、経済的な問題を含めて日常生活を送るのが困難な方々が生活していただく生活保護法上に規定されている救護施設です。

建物の経年劣化が進んでおり、屋根の幕板、軒下の塗装状況が悪化し、放置できない状況にありましたが、助成を受け、無事補修することができました。これからも「セーフティーネット」の機能を発揮しながら、入所されている利用者が安心、安全な生活を維持することができるようしていきたいと思います。



実施した主な事業

報告します

本会の令和4年度事業報告・決算

本会では、第4次地域福祉活動計画に基づき、「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向けて、関係機関・団体などとの協働のもと地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

地域福祉事業

●住民支え合い活動づくり事業

第2層協議体会議の開催：26回

●住民支え合い生活支援サービス

延利用者数：29人

実施件数：179件

●住民支え合い事業

48地区指定

●避難行動要支援者マップ作成事業

10地区

●緊急連絡カード(兼)医療情報キット配備事業

配備者数：6,603人

実施箇所数：273箇所

実施回数：4,760回

延参加者数：46,802人

●子育てサロン事業

実施箇所数：17箇所

実施回数：123回

延参加組数：670組

●地域子育て支援拠点事業

延利用者数：大人

子ども

相談件数：128件

●いわき市屋内遊び場

延利用者数：大人

子ども

●車椅子同乗移送用自動車の貸し出し

延利用数：252件

ボランティア活動センター事業

●ボランティア相談

相談件数：24件

●児童・生徒向け福祉体験プログラム

参加児童・生徒数：1,139人

22回

福祉総合相談事業

●福祉総合相談

●無料法律相談

相談件数：2,340件

相談件数：64件

生活困窮者支援事業

●生活・就労支援センターの運営

相談件数：584件

●生活困窮者生活サポート事業

たすけあいフードバンク事業：17世帯

一時的食糧等支援事業：71世帯

乳幼児のいる世帯支援事業：5世帯

DV被害者支援事業：75件

七五三祝い支援事業：8人

クリスマス支援事業：40世帯

親子ふれあいバスハイク事業：6世帯(25人)

権利擁護事業

●日常生活自立支援事業

新規契約件数：9件(利用人数74人)

相談・支援件数：4,328件

●法人後見事業

受任件数：8件

貸付事業

●生活資金

貸付件数：157件

(貸付総額 254万3,800円)

●生活福祉資金

貸付件数：76件

(貸付総額 1,747万6,000円)

●新型コロナウイルス特例貸付

令和4年9月末迄

緊急小口資金 貸付件数：339件

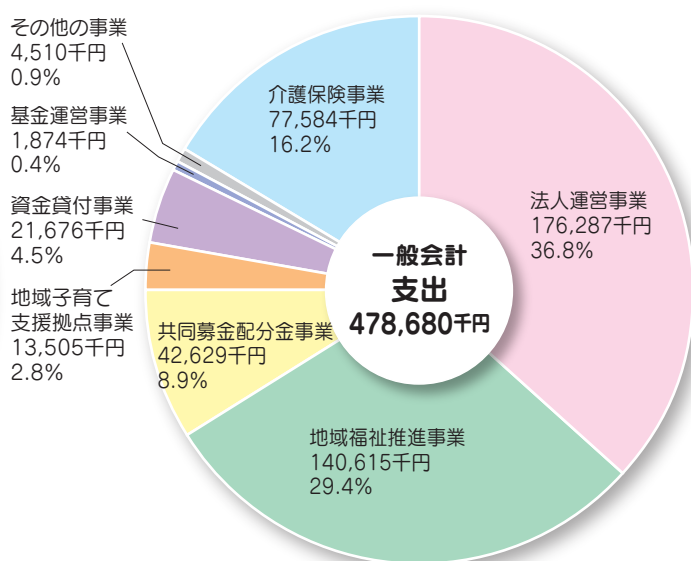
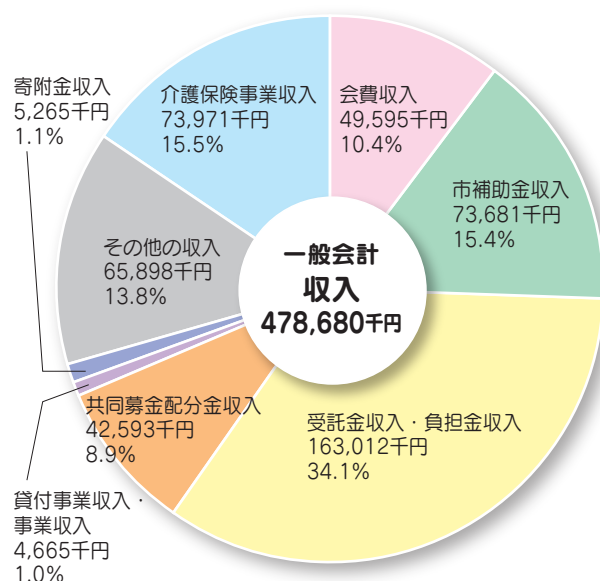
(貸付総額 6千505万円)

総合支援資金 貸付件数：378件

(貸付総額 2億290万円)



令和4年度 収支・支出のあらまし



ボランティア活動センター通信

市内13校から45名が参加！

第32回サマーショートボランティアスクール!!

例年、高校生を対象に、夏休みの期間を利用して、市内の福祉施設等で3日間ボランティア体験を行い、自分たちが住む地域社会の福祉の現状や課題を理解し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ変更され、4年ぶりに市内施設等でのボランティア活動を体験することができました。

7月25日(火)に開校式を行い、同世代が取り組むボランティア活動の事例として、「勿来工業高等学校 ボランティアについて」と題し、勿来工業高等学校の生徒より発表していただきました。その後、受け入れ施設等のオリエンテーションを受け、ボランティア活動は身近なところから始められることを知り、今後の参加意欲を高めることができたようでした。この体験活動の場をご提供いただき、高校生たちを温かく受け入れてくださいました福祉施設及びボランティア団体の皆さまに、心より感謝申し上げます。



勿来工業高等学校生徒さんの講話



活動の様子

★参加高等学校 (13校)

いわき総合高等学校	いわき湯本高等学校	磐城高等学校
磐城桜が丘高等学校	磐城第一高等学校	磐城農業高等学校
磐城緑陰高等学校	小名浜海星高等学校	翔洋学園高等学校
勿来工業高等学校	東日本国際大学附属昌平高等学校	好間高等学校
四倉高等学校		

敬称は省略させていただきました

★協力施設 (22施設)

あとりえ北山	ヴィラ白鳥	鹿島保育所	カンガルーひろば
窪田保育所	くらしの郷デイサービスセンター	くらしの郷ミドル&ショートステイ	木もれ陽
下川保育所	仁愛グループホーム	せいざん荘西山館	どんぐり
錦保育所	にじの郷	野の花ホーム	はまぎく荘
パラソこしき	望洋荘	みによん	杜のどーなつ
四倉保育所	レンガ通りデイサービスセンター		

敬称は省略させていただきました

★協力団体 (6団体)

いつだれボランティア会	いわき傾聴ボランティアみみ	いわき声の奉仕グループ	いわき点訳グループ
勿来地区ボランティア連絡会	要約筆記いわきサークル		

敬称は省略させていただきました

令和5年7月秋田豪雨への支援活動について

福島県社会福祉協議会等からの派遣要請により、本会職員の派遣を実施しました。

派遣目的 秋田市災害ボランティアセンター運営支援

派遣期間 7月28日(金)から7月30日(日)まで(1名)
8月19日(土)から8月23日(水)まで(1名)



お問い合わせ先 ボランティア活動センター ☎38-6631(代)まで

社協通信

第49回

いわき市総合社会福祉大会開催のお知らせ

いわき市といわき市社会福祉協議会の共催により、福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を高めていく「いわき市総合社会福祉大会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。



日時

令和5年11月22日（水） 午後1時30分 開会

会場

いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール（いわき市平字三崎1番地の6）

内容

◆表彰・感謝状贈呈

◆記念講演

演題：（仮）わたしのヤングケアラー ～障がいのある両親の元に生まれて～

講師：Hair Dresser TiCA オーナー たかはし みえ 高橋 美江 氏

お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320代まで

どんなことでも 相談してください。

課題解決に向けて
各種支援関係機関と
連携しながら支援します。

生活・就労支援センターでは、生活や仕事のことなどでお困りの方からの相談を受け、困りごとの解決に向けて、一人ひとりの生活状況に合わせた支援先の紹介を行ったり、支援プランを作成する等、継続的なサポートを行っています。



仕事が見つからない



引きこもりの子どもの将来が不安



借金の返済で生活が苦しい



お金がなくて病院に行けない



収入がなく家賃が払えない

お問い合わせ先
生活・就労支援センター ☎38-6500まで
✉ seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

お困りごとは ありませんか？

皆さんが、日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い・助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しています。

普段の生活の中で、ゴミ出しや電球交換などでお困りの方やどんなサービスがあるのかを知りたい方は、最寄りの地区協議会まで、お気軽にお問い合わせください。

また、支え合いサポーター（ボランティア）として活動にご協力いただける方も募集しておりますので、ぜひご連絡ください。



お問い合わせ先
地域福祉課 ☎23-3320代まで

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

小名浜地区協議会 (子育てサロン)



就園前のお母さんを対象に、年齢ごとに3つのクラスに分けて、子どもたちの健やかな成長と交流の場として、毎月各1回小名浜市民会

館で開催しています。

民生委員・児童委員や主任児童委員の協力のもと、親子体操や絵本の読み聞かせ、季節に合った行事などを通して、参加者たちは子育てに関する情報交換や悩みを相談し合い、有意義な時間を過ごしました。

◆詳しくは、小名浜地区協議会 ☎54-2111代まで

小川地区協議会 (ボランティア講座)



地区内の地域住民を対象に、6月22日、小川支所において、福島県防災士会 藁谷俊史氏を講師とし開催しました。

当日は、14名が参加し、令和元年東日本台風の被害状況や有事の際に使える技術などを学びました。

参加者からは、災害の知識を深めるとともに、平時から住民同士の支え合いと交流が大切だという声が聞かれました。

◆詳しくは、小川地区協議会 ☎83-1111代まで

三和地区協議会 (介護講座)



地区内の地域住民や福祉推進委員を対象に、7月19日、三和ふれあい館において、「自分のカラダを知って介護予防・認知症予防に取り組もう!」をテーマとして、作業

療法士 前田 二三江氏を講師に開催しました。

当日は、24名が参加し、身体を動かしながら介護予防について知る事ができ、今後は地域での介護予防の啓発や介護に関する知識を普及したいとの声が聞かれました。

◆詳しくは、三和地区協議会 ☎86-2111代まで

田人地区協議会 (熱中症予防対策事業)

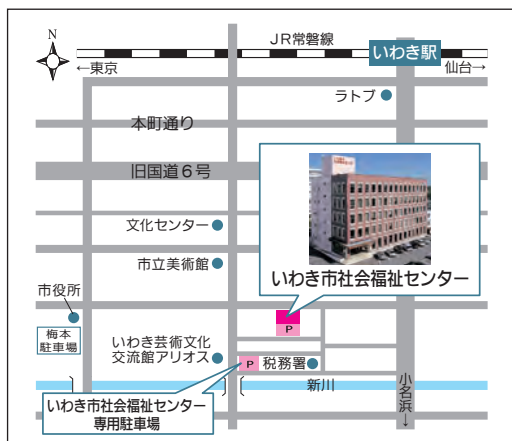


地区内の75歳以上の一人暮らし高齢者と80歳以上の高齢者のみの世帯合わせて180名を対象に、8月17日、民生児童委員協

議会の協力を得て開催しました。

当日は、地区内の高齢者等を訪問し、声かけと健康状態の確認、困りごとの相談を熱中症予防のための飲料水を配布しながら行いました。

◆詳しくは、田人地区協議会 ☎69-2111代まで



編集後記

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に始まり今年で77回目を迎えます。皆さまからの募金は、地域の高齢者や障がい者、子どもなどを支援するさまざまな福祉活動に役立てられています。

また、災害時には「災害ボランティアセンター」の活動を支える重要な資金となっていますので、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いします。広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所: いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市協
ホームページ